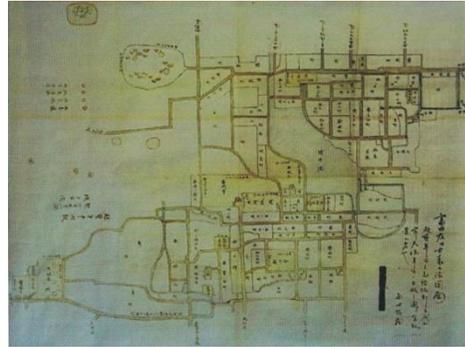


### 3-7. 富田の古代地図から歴史順に地図を見よう



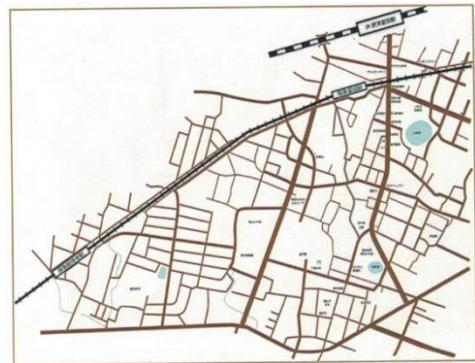
江戸時代の絵図 (東岡宿)



天保(1830~1843)富田庄内古来之総図



昭和7年に発行された俯瞰図



現在

#### 1) 明治・大正時代

- (1) 明治初期は、富田村は高槻村より人口が多く栄えていました。
- (2) 明治9年(1876)に高槻駅と茨木駅が開設された。富田は駅の設置を拒んだといわれています。その結果、交通の利便性による格差がついて、高槻・茨木がどんどんと栄えた。

※ 江戸時代の旅人は、一日十里(約40km)歩くのが普通でした。

日本で最初に品川・横浜間が開通し所要時間は35分でした。

「早キ事神の如し」と言っていたようです。

- (3) 大正13年(1924)7月に、摂津富田駅が請願駅として開設  
駅舎及び道路などの土地・費用は住民に募金を募り、富田村が金を出して出来た駅と言われています。
- (4) 大正14年((1924)11月町制を実施、富田村から富田町になった。

#### 2) 昭和時代

- (1) 昭和3年(1928)新京阪電鉄の富田駅(現阪急富田駅)・高槻駅が開設された。